

事務事業チェックシート

事務事業No 426 事業名 農業施設改良維持事業（改良）

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	3	農林水産業の活性化
施策	1	農林業の振興
取組方針	2	農地の保全と生産基盤の充実

事業種別	継続		
事業期間	～		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	耕地課	坂本 茂彦	435-1051
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	農林水産業費		
	項	農業費		
	目	農業施設改良費		
	大事業	農業施設改良事業		
中事業	農業施設改良事業			

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）		全体事業概要				
	農業従事者が生産に専念できる環境を作るため		農道・水路・ため池等の農業施設整備 農道の拡幅、舗装の工事 水路の断面拡幅、構造改良の工事 ため池の余水吐改良、堤体修繕改良、取水施設修繕改良の工事				
事業内容		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		農道・水路・ため池等の農業施設の改良工事	農道・水路・ため池等の農業施設の改良工事	農道・水路・ため池等の農業施設の改良工事	農道・水路・ため池等の農業施設の改良工事	農道・水路・ため池等の農業施設の改良工事	

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	128,953	114,874	116,779	123,726	109,343	95,955	131,777		131,777	
伸び率（%）	-	-	▲9.4%	7.7%	▲6.4%	▲22.4%	20.5%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	44,402	44,356	44,356	46,905	43,700	50,806	53,868	53,868	
	正規職員以外	1,505	794	794	286	958	300	2,165	2,165	
	小計	45,907	45,150	45,150	47,191	44,658	51,106	56,033	56,033	
国庫支出金			2,500	1,706	4,753	5,493	30,250	30,250	30,250	
県支出金	3,000	3,000	2,100	2,073	3,180	5,246	4,750	4,750	4,750	
市債	123,600	109,500	95,200	104,300	90,200	75,600	84,400	84,400	84,400	
その他										
一般財源（税等）	2,353	2,374	16,979	15,647	11,210	9,616	12,377	12,377	12,377	
所要人数（人）	正規職員	5.84	5.83	5.83	5.90	5.50	6.37	6.75	6.75	
	正規職員以外	0.71	0.36	0.36	0.19	0.34	0.19	0.95	0.95	
主な予算内訳	農業施設改良工事請負費：83,060千円、調査設計委託料：19,500千円、舗装改良工事請負費：6,000千円、小規模土地改良工事請負費：14,000千円、県営ため池整備事業負担金：5,770千円、平成29年度から平成30年度繰越額：11,334千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 工事件数	件	目標値	47	39	35	30	30
		実績値	39	29	25		
		達成度（%）	83.0%	74.4%	71.4%		
成果指標 改良工事を行った整備延長距離	m	目標値	1,883	1,415	1,575	1,465	1,465
		実績値	2,342	1,642	2,075		
		達成度（%）	124.4%	116.0%	131.7%		
活動指標		目標値					
		実績値					
		達成度（%）					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	生活関連事業であり、方向性については、現状維持で行うことが望ましく、また既存の農業用施設の機能改良を行っていき、和歌山市の安心・安全な農業の振興に努めてまいります。また、コスト投入についても現状維持で生活基盤を維持していくことが望ましいと考えております。
見直し・改善内容	農業従事者の利便性を向上させるため、より計画的かつ有効な施設改良を行うとともに、増加し続ける住民の要望にも対処していくため、地域の現状を勘案しつつ、事業の実施に努めていきます。